

管内カメラ調査による管内面評価について

一般社団法人 全国水道管内カメラ調査協会 管内面劣化診断評価委員会による。
同協会は不断水管内カメラ調査のデータをもとに、ビデオ・静止画などを活用して老朽管路の診断・評価に関する考察など、管内評価診断を進めてきた。

管内劣化状況は以下の5項目とする。

1. 錆の状態（発生・成長状況）
2. 内面付着物
3. 内面防食塗膜状況
4. 堆積物
5. 浮遊物

■劣化状況ごとの評価

劣化度合については、S ランクを「最も健全な状態」、D ランクを「最も対策を取らねばならない状態」とする5段階の評価とした。

(1) 錆の状態

ランク	錆の状態
S	発錆が確認されない。
A	発錆が確認される。
B	錆の隆起（錆こぶ）が確認される。
C	錆による閉塞が起きている（目視 閉塞率 30%未満）。
D	錆による閉塞が起きている（目視 閉塞率 30%以上）。

(2) 内面付着物

ランク	内面付着物
S	付着物が確認されない。
A	部分的に付着物が確認されるが色が薄い。
B	管路内面全体に付着物が確認されるが色が薄い。。
C	付着物により管路内面全体が茶色っぽい。。
D	付着物により管路内面全体が真黒になっている。。

(3) 内面防食状況

i. モルタルライニングに対するランク表

ランク	内面防食状況 (モルタルライニング)
S	剥離などの問題が見られない。
A	シーラコートがライニングから浮いている。
B	シーラコートの剥離が確認される。
C	モルタルライニング表面の劣化が確認される。
D	モルタルライニングの剥離が確認される。

ii. 各塗膜に対するランク表 (対象はエポキシ樹脂粉体塗装、管端部防食塗装とする)

「A」「C」に関しては段階的な状態がわからない為に空欄とした。

ランク	内面防食状況 (塗膜)
S	剥離などの問題が見られない。
A	空欄
B	塗膜の一部が剥離し錆が発生している。
C	空欄
D	塗膜が剥離し錆が発生している。

(4) 堆積物

ランク	堆積物
S	堆積物がない。
A	錆や砂・石などが確認される。(異物含む)
B	部分的な錆や砂・石などの堆積が確認される。
C	広範囲に錆や砂・石などの堆積が確認される。
D	堆積によりカメラが埋没し調査が行えない。

(5) 浮遊物

ランク	浮遊物
S	浮遊物が確認されない。
A	浮遊物が時折確認できる。
B	浮遊物が常に確認できる。
C	多量の浮遊物が常に確認できる。
D	浮遊物により視界が悪くカメラ調査が困難。